

## 【岐阜女子大学】メタデータ項目と記述内容

	メタデータ項目	メタデータ記述欄
1	ID	
2	表題名	与那原の文化財
3	資料名	中島区の石獅子
4	内容分類	郷土・歴史
5	索引語	与那原町
6	説明	<p>■中島の石獅子</p> <p>沖縄の住宅の屋根の上や門扉の上に魔除けとして置かれている、漆喰や焼き物のシーサー。その原型となったのが、各地域の集落を災いなどから守る役割をもっていた石獅子（いしじし）という石造りのシーサーである。石獅子の表情や向いている方角もそれぞれ違っている。</p> <p>石獅子の多くは、昔は火山として恐れられていた東風平にある八重瀬岳への「けーし（返し）」で造られていたようである。</p> <p>よなばるの石獅子も、地域を守るため、「火」から守るために作られた。中でも「火の獅子」と呼ばれているものは、「大里村で頻繁に火事がおこり、火を返すために与那原に向けて石獅子建てたら、今度は与那原で火事が多く起るようになったため、対抗するために大里に向けて石獅子を立てて火を返した」と言われている。</p> <p>昔、与那原は木材屋さんが多く、建物も密集していた。商業の町与那原で活躍していた「馬」の水のみ場として「クムイー（ため池）」があり防火の役割も果たしていたが、たった5つしかなかった時代である。</p> <p>そのため「火」から町を守るべく石獅子がいくつも作られたと言われおり、今回現地調査を行った中島の石獅子は、材木ストリートの近くに設置されていた。今では朽ちてしまったものや撤去されてしまったものも多いなか、今日まで現存している石獅子たちは長い時間静かに集落を見守り続けている。</p> <p>中島区の石獅子は、地域の歴史や文化を象徴するシンボルであり、地域の誇りや魅力を高め、観光名所としても活用されている。シビックプライドとして、地域住民の絆を深め、町の伝統や安全を守るシンボルとして愛されている。</p> <p>参考サイト          知れば知るほどラビリンス、与那原にある7つの石獅子をめぐる冒険、<a href="https://www.dee-okinawa.com/topics/2019/03/yonashishi.html">https://www.dee-okinawa.com/topics/2019/03/yonashishi.html</a> (アクセス: 2025/2/16)          与那原町ポータルサイト、石獅子7(撮影スポット)、<a href="https://yonabaru.okinawa/spot/visiting/ishishishi-7/">https://yonabaru.okinawa/spot/visiting/ishishishi-7/</a> (アクセス: 2025/2/16)</p>
7	形式	静止画(jpg)
8	氏名	上門礼奈

9	時代・年	撮影日：2025年2月16日
10	地域・場所	〒901-1303 沖縄県島尻郡与那原町与那原
11	利用条件	表示 4.0 国際 (CC BY 4.0) で提供
12	関連資料1	なし
13	権利者	岐阜女子大学
14	協力者	
15	登録日	2025/2/15
16	登録者	上門礼奈
17	ファクトデータ	 circd0861-0049.jpg
18	*特色	<p><b>■与那原町とは</b></p> <p>与那原町は沖縄本島の東海岸南部に位置し、北緯 26 度 11 分 58.5 秒、東経 127 度 45 分 17.5 秒にあって県都那覇市から 9km の地点にあり、南東に南城市、西に南風原町、北に西原町と 3 市町村に隣接している町である。</p> <p><b>■与那原町の歴史</b></p> <p>古くから交通の要衝や商業の街として、大正 3 年には那覇～与那原間に沖縄で初めての軽便鉄道が開通し、戦前の与那原は島尻郡東南部や中頭地方へ連結する産業経済の大動脈となり栄えてきた与那原町の歴史は古く、沖縄最古の古謡集「おもうさうし」の中に「よなはる」や「よなはばま」(与那覇浜)の名で登場している。</p> <p>与那原の地名は、かつて海岸地であったところの名称であるといわれ、先史時代の面影は、きわめて静かで白い砂浜が続く入り江を前にした浦辺の仙境であったと思われる。</p> <p>また、古代の与那原人が最初に住み始めたところは、上与那原（町南西部）であったといわれており、当時の上与那原は、海に近く漁労に便利でしかも水が豊富だったため、自然に人が住み着き、集落ができたと考えられている。</p> <p>昔の沖縄、琉球王国の宗教である『琉球神道』ではノロという神女の役職があり、その最高位を聞得大君といわれている。聞得大君は国王を靈的に守護する役を担っており、国王や国そのものに降りかかる災いを、その靈的力</p>

		<p>をもって退けていたと伝えられている。その聞得大君ゆかりの地として、与那原町には数多くの史跡が残されている土地である。</p> <p><b>■現在の与那原</b></p> <p>「太陽と緑、伝統とやさしさを未来へつなぐ海辺のまち・与那原町」をテーマとし、「東部地域の中核都市」の形成に向け、マリンタウン・プロジェクトによる住宅・商業・業務施設などの都市機能施設、マリーナ・緑地などの港湾施設を一体的に整備し、町づくりを推進している。</p> <p>参考資料</p> <p>与那原町、与那原町の紹介、<a href="https://www.town.yonabaru.okinawa.jp/soshiki/2/67.html">https://www.town.yonabaru.okinawa.jp/soshiki/2/67.html</a>。（アクセス:2025/2/16）</p> <p>与那原町観光ポータブルサイト、与那原町の歴史、<a href="https://yonabaru.okinawa/about-yonabaru/history/">https://yonabaru.okinawa/about-yonabaru/history/</a>。（アクセス:2025/2/16）</p> <p>沖縄県、与那原町、<a href="https://www.pref.okinawa.jp/machizukuri/suido/1012453/1022435/1003450/1022437/1003468.html">https://www.pref.okinawa.jp/machizukuri/suido/1012453/1022435/1003450/1022437/1003468.html</a>。（アクセス:2025/2/16）</p>
<b>19</b>	<b>*活用支援</b>	
<b>20</b>	<b>*利用分野</b>	教育、生涯学習、地域学習、観光
<b>21</b>	<b>*改善結果</b>	
<b>22</b>	<b>*処理プロセス</b>	
<b>23</b>	<b>*関連資料2</b>	